



やるか やらないか

校長 四本 博彦

令和8年がスタートしました。私たちにとって、新年の幕開けは、何だかいつもの日常とは違うような新鮮な気持ちになります。さて、巳（み）年の昨年を振り返り、午（うま）年の今年はどんな一年を過ごそうと考えましたか？

当たり前の事ですが、今のこの時間は今しか存在しません。来年も、今と似たような季節はやってきますが、その時の時間は今とは確実に違います。自分が何かを進めようとするとき、アクションを起こすとき、不安はつきものです。できないかもしれないという不安を吹き飛ばし、やってみることです。

結局のところ、「できるか・できないか」ということではなく、「やるか・やらないか」ということなんです。この決断は、自分の判断次第でしかないのでです。「できるかな」という考えが頭の中をよぎるときは、責任のベクトル（矢印→）が他に向いています。自分自身で「やる」と決断さえすれば、ベクトルが自分に向きます。そのことで、何かが動きだし、途中でうまくいかないことが起こっても解決のアイディアが自然と浮かんできます。そういうものです。言い訳のきかない一度きりの人生、「やる」という決意を新たに、午年の令和8年（2026）を駆け抜けてほしいと思っています。

3年生が面縄中学校の生徒として登校するのは、3学期残り44日です。入試などで登校しない日を考えれば、登校日数はもっと少なくなります。出会いがあれば、別れがあるのは必然です。この出会いを大切にしながら、次の人生のステップへ、各自が力強く進んでいくことを強く願っています。

「迷えば不安、決めれば自信」。この言葉を胸に、「やる」という覚悟をもった新年の決断を！！

あの日、やって~3~

本校に残る過去の資料の中には、「この由来は「昔面縄にミナデウンノウなる強の者ありて部落の危機を救う」に由来する」という記載があります。この由来が何の由来なのか、謎に包まれているのですが、本校の第二校章（現在、多くの場面で使われている校章）の3つの先端ではないかと考えています。また、先端は校歌の歌詞にある「光あり・栄あり・力あり」を表しており、向上と、真摯な学究的精神を表しています。

ミナデウンノウは、上面縄に伝承されている英雄の名前で、検福付近にあったウービラ城で横暴を働いていた豪族を滅ぼした上面縄の英雄の名前です。



赤い羽根共同募金会



12月9日(火)，生徒会を中心に取り組んだ赤い羽根共同募金を，伊仙町社会福祉協議会に寄付しました。募金総額6,841円でした。御協力いただきありがとうございました。

特区走大会

12月10日(水)，保護者や地域の方の声援が沿道を彩るなか，温かい応援を力に変え，各学年全力で走りました。応援をいただいた皆様，沿道で見守っていただいた役員の皆様，ありがとうございました。



校外学習



12月13日(土)，1年生の校外学習を実施しました。今回の校外学習では，泉芳朗先生関連の史跡や伊仙町歴史民俗資料館を見学しました。奄美群島の日本への復帰について学ぶことができました。

ハじめ問題子母サミット(オンライン)への参加

中富 汐奈 米田 詩妥 澤村 龍之介

英語検定

3級合格 清水 銀士 中原 芽唯

令和7年日本復帰の集いへの参加

中富 汐奈

第44回全国中学生人権作文コンテスト

奄美人権協議会奨励賞 元山 里莉 「女性問題について」

日本復帰記念第36回大島地区中学校弁論・ショートスピーチ大会

優秀賞 中原 瑠唯 「戦没者の思いを背負って」

2月行事

- 3日(火) 公立高校推薦入試
- 6日(金) 立志式(2年)
- 9日(月) P T A あいさつ運動(1年)～13日
- 12日(木) 学年末テスト～13日
- 14日(土) 土曜授業 コーヒー豆収穫体験(1年)
- 17日(火) 移動図書館
- 26日(木) 授業参観・学級P T A
- 27日(金) 読み聞かせ(1・2年)
コーヒー豆収穫体験(2年)

毎月，第3土曜は「青少年育成の日」，第3日曜は「家庭の日」，毎月19日は「食育の日」，毎月20日は「児童の日」，毎月23日は「交通安全の日」，毎月23日は「子どもといっしょに読書の日」です。